

# 現代日本論概論 「現代日本における家族」

東北大学文学部 2年生対象：2013年度前期（3セメスター：授業コード=LB35105）  
<金1>133 教室（文学部棟 1F）

## 概要

講義題目：現代日本における家族

◆到達目標：(1) 家族研究の基礎的な概念と理論を理解する；(2) 実証的データに基づいて現代日本における家族の現状を把握する

◆授業内容・目的・方法：「家族」をめぐる問題は、さまざまな学問領域で研究対象となっています。この授業では、社会学を中心に、法学・経済学・人口学などにおける家族研究の成果を概観したうえで、現代日本社会における家族問題について考えます。トピックとしては、親族関係の分析、家族の形態と制度、結婚と離婚、出生と育児、ライフコースからみた家族、人口変動と家族などをとりあげます。授業においては、これらのトピックに関連したテーマを設定して、授業時間内に作文を完成させる課題を課すことがあります。また法律や統計などの資料を探索・解釈する宿題を課したり、各自の役割分担にしたがって調べたことを互いに教えあう活動をすることもあります。

◇教科書：神原文子（ほか編）（2009）『よくわかる現代家族』ミネルヴァ書房。

◇成績評価の方法：授業中の課題と宿題（30%）、中間試験（35%）、期末試験（35%）を合計して評価する。

◇その他：授業中の課題遂行のため、携帯用通信機器や電子辞書の持ち込みを推奨する。

## 教科書以外の参考文献

- ・ 利谷信義（2010）『家族の法』（第3版）有斐閣。
- ・ 藤見純子・西野理子（編）（2009）『現代日本人の家族：NFRJからみたその姿』有斐閣。
- ・ 京極高宣・高橋重郷（編）（2008）『日本の人口減少社会を読み解く：最新データからみる少子高齢化』中央法規出版。
- ・ 湯沢雍彦・宮本みち子（2008）『データで読む家族問題』（新版）日本放送出版協会。

## 授業内容

1. イントロダクション（4/12）
2. 親族と家族（4/19）[I-1]
3. 家族の法（4/26, 5/10-17）：分担を決めて調べ、グループで討論 [XI]
4. 人口と家族（1）：人口学の考えかた（5/24-31）
5. 中間試験（6/7）
6. 人口と家族（2）：結婚と出生（6/14）[VI-3]
7. 人口と家族（3）：ライフサイクルの変化（6/21）[III] [VI-4]
8. 家族変動（6/28）[III]
9. 家族の経済学（7/5）
10. 課題再提出、期末試験（7/12）
11. 課題・試験返却と全体のまとめ（7/19）

※（ ）内の日付は、おおよその計画をあらわしているが、実際の授業の進行状況によって前後にずれることがある。

※ [ ] 内は、教科書の章番号。

## 受講者との連絡とフィードバック

- 毎回の課題・宿題は、コメントをつけて返却します（内容によっては再提出を求めることもあります）。学期末にこれらをもう一度まとめて提出することになるので、**捨てずにとっておい**てください。
- 中間試験、期末試験は、採点後に返却します。
- 最終回に欠席した受講者については、期末試験と課題を研究室レターケースに入れてあります。
- 教員からの連絡は、授業中での周知および文学部掲示板のほか、個人ブログ <http://b.tsigeto.info/family>（RSS フィード 利用可）に出る場合があります。

## 第2回目までの予習

教科書を購入して、第I章を読んでおくこと。

## 連絡先

田中重人（東北大学文学部日本語教育学研究室）

〒：980-8576 仙台市青葉区川内 27-1 文学部・法学部合同研究棟 2F

Office: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/officej.html>

E-mail: [tanakas2009@sal.tohoku.ac.jp](mailto:tanakas2009@sal.tohoku.ac.jp)

Homepage: <http://www.sal.tohoku.ac.jp/~tsigeto/welcomej.html>

Blog: <http://b.tsigeto.info>

オフィス・アワーは定めていない。質問等がある場合は、あらかじめ適当な時間に予約をとること。

## 現代日本論概論「現代日本における家族」 (田中重人)

### 受講登録フォーム

氏名 (よみ):

学年:

学籍番号:

所属 (文学部日本語教育学専修以外の場合):

興味のあること (非学術的な内容でも可):

授業でとりあげるテーマについての希望 (もしあれば)、その他の連絡事項

以下は採点用

	4/19	4/26	5/10	5/17	5/24	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19	中間	期末
宿題															
課題															
参加															
試験															

--	--

### 予備知識の調査（成績評価には関係ありません）

(1) 「核家族」(nuclear family)とは何か。簡単に説明せよ。

(2) 「M字型曲線」(M-shaped curve)とは何か。簡単に説明せよ。

(3) つぎの文章の（ ）内にあてはまる数字を入れよ。

民法第731条によれば、女性は（ ）歳、男性は（ ）歳にならないと結婚できない。また、（ ）歳になるまでの間は、父母の同意がなければ結婚できない。

労働基準法第56条によれば、（ ）歳未満の児童を雇用することは原則としてできない。

きょうだいは（ ）親等の関係にある。

(4) 「高齢化社会」(aging society)とは何か。簡単に説明せよ。

## 予備知識の調査：解答例

(1) 「核家族」(nuclear family) とは何か。簡単に説明せよ。

夫婦と未婚の子供のセットのこと。

(2) 「M字型曲線」(M-shaped curve) とは何か。簡単に説明せよ。

女性の年齢階級別の労働力率（または就業率）のグラフを描くと、両側にふたつの山があってその間が落ち込んだ形になる。この形がアルファベットの「M」に似ているため、「M字型曲線」と呼ばれる。

(3) つぎの文章の（ ）内にあてはまる数字を入れよ。

民法第 731 条によれば、女性は（ 16 ）歳、男性は（ 18 ）歳にならないと結婚できない。また、（ 20 ）歳になるまでの間は、父母の同意がなければ結婚できない。

労働基準法第 56 条によれば、（ 15 ）歳未満の児童を雇用することは原則としてできない。

きょうだいは（ 2 ）親等の関係にある。

(4) 「高齢化社会」とは何か。簡単に説明せよ。

人口の中の高齢者の割合が増加して一定以上の比率を占めるようになった社会を「高齢化社会」という。65 歳以上の者の比率が 7%以上という基準を使うことが多い。

# 親族関係用語について

「親族」(kinship) とは …… 親子関係と夫婦関係でたどれる間柄の人々のこと

- ・ 孫 = 子供の子供
- ・ 祖父母 = 親の親
- ・ 兄弟姉妹 = 親の子
- ・ 姑・舅 = 配偶者の親
- ・ 甥・姪 =
- ・ 義理の兄弟姉妹 =

(1) 親子関係だけでたどれる範囲の人々を「**血族**」(consanguinity)、夫婦関係をたどらないとたどりつけない人々を「**姻族**」(affinity) という。

(2) 親族のうち、世代的に上の者を「**尊属**」(ascendant)、下の者を「**卑属**」(descendant)という。

(3) 世代を上または下に一方的に進んでたどり着ける場合を「**直系**」(lineal)、折り返さないとたどりつけない場合を「**傍系**」(collateral) という。

(4) 親族関係の近さをあらわすのに「**親等**」(degree) を用いる。これは、親子関係を何回経由するとその人にたどり着けるか、その回数を数えるものである (ローマ法方式)。

【問題】 上にあげた「孫」から「義理の兄弟姉妹」までについて、上記の (1)~(4) にしたがって分類してみよう。

## 家系図 (family tree) による表現

女性が○、男性が△

尊属が上、卑属が下

夫婦関係は横の二重線 (=)

親子関係は縦の単線 (|)、ただし子供が複数のときは枝分かれした櫛型の線にする

【問題】 つぎの範囲の親族について、家系図を描いてみよう：

自分、父、母、妹、姉、姉の夫、姉夫婦の息子